

**「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント
全国展開事業（教育地域拠点）」（2019年度）**

実施報告書



岩手県教育委員会

令和2年3月

目 次

事業概要

1	事前セミナー	3
2	授業実践報告	5
(1)	盛岡市立仙北小学校	5
(2)	西和賀町立湯田小学校	6
(3)	釜石市立鶴住居小学校	7
(4)	盛岡市立見前中学校	8
(5)	岩手町立沼宮内中学校	10
(6)	紫波町立紫波第三中学校	11
(7)	西和賀町立湯田中学校	12
(8)	奥州市立水沢中学校	13
(9)	山田町立豊間根中学校	14
(10)	二戸市立金田一中学校	15
(11)	大槌町立大槌学園	16
(12)	岩手県立盛岡南高等学校	17
(13)	岩手県立久慈東高等学校	18
(14)	岩手県立盛岡となん支援学校	19
(15)	岩手県立盛岡峰南高等支援学校	20
(16)	岩手県立花巻清風支援学校	21
3	実践報告会	22
4	オリンピック・パラリンピック教育に関するアンケート	25

《推進校一覧》

No	校種	学 校 名
1	小学校	盛岡市立仙北小学校
2		西和賀町立湯田小学校
3		釜石市立鶴住居小学校
4	中学校	盛岡市立見前中学校
5		岩手町立沼宮内中学校
6		紫波町立紫波第三中学校
7		西和賀町立湯田中学校
8		奥州市立水沢中学校
9		山田町立豊間根中学校
10		二戸市立金田一中学校
11	義務教育学校	大槌町立大槌学園
12	高等学校	岩手県立盛岡南高等学校
13		岩手県立久慈東高等学校
14	特別支援学校	岩手県立盛岡となん支援学校
15		岩手県立盛岡峰南高等支援学校
16		岩手県立花巻清風支援学校

1 事前セミナー

【開催概要】

(1) 目的

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（教育地域拠点）」（2019年度）の開始にあたり、本事業の概要と推進校のオリンピック・パラリンピック教育に関する指導方法について理解を深めるとともに、推進校における効果的な事業展開に資するために、本セミナーを開催するものである。

(2) 主催

岩手県教育委員会

(3) 協力機関

①早稲田大学 オリンピック・パラリンピック教育研究センター

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（教育地域拠点）」（2019年度） 全国中核拠点 岩手県担当

②県文化スポーツ部スポーツ振興課

(4) 期 日

令和元年8月26日（月） 13時30分～

(5) 会 場

県営武道館

住所：盛岡市みたけ3-24-1 TEL：019-641-4577

(6) 参加者

①推進校担当教員（各校1名）

②教育事務所担当者

(7) 日 程

①挨拶（13:30～13:40）

岩手県教育委員会事務局保健体育課

総括課長 清川 義彦

②オリンピック・パラリンピック教育とその進め方（13:40～14:30）

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

主幹研究員 吉永 武史 氏

研究助手 岡田 悠佑 氏

③質疑応答及びグループワーク（14:30～15:10）

【休憩】15:10～15:20

④パラリンピック競技体験（15:20～16:20）

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課

主査スポーツ振興専門員 佐藤 慎二 氏

⑤連絡、アンケート記入（16:20～16:30）

⑥ 閉会

【内 容】

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（教育地域拠点）」（2019年度）事前セミナーが早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの吉永武史主幹研究員、青木彩菜研究主任、岡田悠佑研究助手をお迎えし、岩手県オリンピック・パラリンピック教育推進校より16名の先生方、各教育事務所担当者の参加のもと、県営武道館会議室及び大道場で開催されました。

講義では早稲田大学吉永主幹研究員より、本事業の概要や、他県による事例紹介と進め方について説明があり、パラリンピック教材について説明もいただきました。グループワークでは、昨年度の推進校の実施報告や各学校の実施計画を共有し、今後の取り組みについての意見交換がなされました。推進校の先生方には具体的な取り組みについてイメージをつかんでいただきました。

パラスポーツ体験では、岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課主査スポーツ専門員の佐藤慎二氏に講師をしていただき、ボッチャとゴールボールの体験を行い、ボッチャのルール、ゲーム展開の仕方、ランプを使用する際の補助の仕方などを学びました。ゴールボールの体験では鈴入りバレーボールを使って音を頼りにキャッチボールをしましたが、取ることは難しいものでした。児童生徒にパラスポーツの体験をする取組をお願いし、会を閉じました。



2 推進校視察報告

(1) 【盛岡市立仙北小学校】

① 実施日時 令和元年 11 月 11 日 (月) 10 時 40 分から 11 時 50 分

② 対 象 5、6 年生 235 名

③ 派遣パラリンピアン 初瀬 勇輔 氏

(柔道 2008 年北京パラリンピック日本代表)

長崎県出身

④ 事業内容 (講演・実技)

10:40 ~ 開会及び講師紹介

10:45 ~ 講演

11:20 ~ 実技

11:30 ~ 質疑応答・お礼の言葉

11:40 ~ 写真撮影・講師見送り

11:50 ~ 終了

⑤ 講演内容

演題「行動することでせかいを変える」

- ・ パラリンピック競技及び視覚障害者柔道のおもしろさ
- ・ 障害者の人口とパラリンピックのメダル
- ・ 障害者の無限の可能性 (リオパラリンピック開催時に作成されたCMから)
- ・ 夢や目標をもつことの大切さ (自身の障害を乗り越えた体験から)
- ・ 東京で行われるパラリンピック大会の意義とみんなが楽しめる社会に向けて

⑥ 実技内容

「初瀬選手と柔道対決」

約 20 名の児童と乱取り稽古を実施。(柔道経験者の児童に投げられる場面あり)



(2) 【西和賀町立湯田小学校】

① 実施日時 令和元年 12 月 20 日 (金) 13 時 05 分から 14 時 45 分

② 対 象 【講演】 3～6 年生 54 名 【実技】 全校生徒 76 名

③ 派遣アスリート 福田 正博 氏

(サッカー元日本代表)

神奈川県出身

④ 事業内容 (講演)

13:05 ～ 開会、講師紹介

13:10 ～ 講演

13:45 ～ 質疑応答

14:00 ～ 実技

14:40 ～ 写真撮影

14:45 終了

⑤ 講演内容

演題「フェアプレーについて」

- ・サッカーとの出会いについて (小学校 5 年生の担任である田中先生との出会い)
- ・ルールがあるのは自分だけでなく、他の人も含め全ての人が楽しむためにあること。
- ・自分に関わる人や物すべてを大切にすることが大事であること (感謝の気持ちをもつこと)
このことは当たり前のことでわかっていることだが、できないことがある。そのために必要なのは、体にも気持ちにも余裕を持つことが大切。そこで重要なのが笑顔 (鏡の前で作ってみること) と体力 (規則正しい生活)。
- ・前向きな思考になるためには、「無理、だめ、できない、でも、だって、どうせ」という言葉を使わないこと
- ・夢や目標をもつことは、もてないことが悪いことではないが、夢や目標があると苦しい時頑張れるし自分が何をすればいいのか明確にできる。

⑥ 実技内容

「ボールを使った運動遊び・PK 対決」



(3) 【釜石市立鵜住居小学校】

① 実施日時 令和元年 11 月 19 日 (火) 13 時 45 分から 15 時 15 分

② 対 象 5、6 年生 58 名

③ 派遣パラリンピアン 太田 渉子 氏

(2006 年トリノパラリンピック バイアスロン 12.5 km 立位銅メダリスト

2010 年バンクーバーパラリンピック クロスカントリー 12.5 km 銀メダリスト

2020 年東京パラリンピックではパラテコンドーの出場を目指す)

山形県出身

④ 事業内容 (講演・実技)

13:45 ~ 開会及び講師紹介

13:50 ~ 講演 「挑戦するって楽しい」

14:15 ~ 休憩、準備

14:20 ~ 実技 テコンドー体験

15:00 ~ 質疑応答

15:10 ~ 写真撮影

15:15 ~ 終了

⑤ 講演内容

・ オリンピッククイズ

オリンピックはいつから？パラリンピックはいつから？私のとったメダルはいくつでしょう？

・ 大切にしていること

○工夫すること

○勇気をもって進む

○困難があってもあきらめない

・ 「失われたものを数えるな。残されたものを最大限にいかせ。」という言葉のとおり自分の得意なものを最大限に生かすことが大事。

・ 挑戦することは楽しいし、勝つときのイメージを持って臨んでいる。

⑥ 実技内容

・ ストレッチ

・ キックの仕方

・ ミット打ち体験



(4) 【盛岡市立見前中学校】

① 実施日時 令和元年 11 月 11 日 (月) 9 時 30 分から 11 時 50 分

② 対 象 2 年生 179 名

③ 派遣パラリンピアン 根木 慎志 氏

(2000 年 シドニーオリンピック車椅子バスケットボール出場)

岡山県出身

④ 事業内容 (講演)

9 : 30 ~ 開会、特別支援学級と実技交流

10 : 15 ~ 入場、講師紹介

10 : 20 ~ 講演 2 年生、特別支援学級

10 : 50 ~ 質疑応答

11 : 05 ~ 実技

11 : 40 ~ 生徒代表挨拶、写真撮影

11 : 50 終了

⑤ 講演内容

- ・たくさんの友達がいる。2000 人もの出会いからたくさんのことを学ぶことができたこと。
- ・高校 3 年の交通事故により歩けなくなった。昔は泣いていたが、今は障がい者としてつらいことはないし、たいていのことはできる。階段だけは登れないが、周りの人が運んでくれると障がいが無くなる。
- ・障がいだと思われない世の中になるといい。
- ・いろんな人に感謝して、今の生活があるとのこと。

⑥ 実技内容「車いすバスケットボール」



【盛岡市立見前中学校】ボッチャ体験

- ① 実施日時 令和元年10月21日(月) 9時00分から12時40分
- ② 場 所 盛岡市立見前中学校体育館
- ③ 対 象 2年生 165名
- ④ 講 師：文化スポーツ部スポーツ振興課 佐藤 慎二 氏
(岩手県障がい者スポーツ協会 三浦 拓朗 氏)
(日本卓球バレー連盟普及委員長 堀川 裕二 氏)

⑤ 事業内容 (実技)

9:00～9:40 テープ貼り (6m×6m 6コート設営) 体育館半面に設営

9:50～10:40 2校時 2年2組

10:50～11:40 3校時 2年3組

11:50～12:40 4校時 2年1組

2年4組と2年5組は10月23日(水)に行った。

⑥ 実技内容

- ・事前に6人1チームを作っておく。
- ・6人で1コートに入る。赤チームと青チームに分かれる。(3人対3人の対戦)
- ・ボッチャの紹介 (各班長がデモンストレーション、周りで見学)
- ・それぞれのコートに分かれてゲームを行う。
(ゲームの進め方、戦略の説明、ルール説明、体勢を変えて体験)
- ・ランプ (補助具) を使った競技者と介助者の体験



ボールを一人2個使う。



白のボールに近づける。



白ボールに遠いチームが投げる。



ランプを使って介助体験。



介助者は後ろを振り返ることができない。



ランプ (補助具)

(5) 【岩手町立沼宮内中学校】

① 実施日時 令和元年 11 月 20 日 (水) 13 時 00 分から 14 時 45 分

② 対 象 全校生徒 177 名

③ 派遣オリンピック 藤沼 亜衣 氏

(卓球 2004 アテネオリンピック女子シングルスベスト 16)

栃木県出身

④ 事業内容 (講演・実技)

13:00 ~ 入場、講師紹介

13:05 ~ 講演

13:50 ~ 質疑応答

14:00 ~ 写真撮影

14:20 ~ 実技

14:45 終了

⑤ 講演内容

演題「卓球が与えてくれたもの」

・「挑戦する気持ち」をもつこと

挑戦することで、新たな可能性も見えてくる。たとえ失敗しても得るものがあり、失敗した時こそ成長のチャンスである。前向きな気持ちをもって、自分の目標に挑戦してほしい。

・「周りの支えに対する感謝の気持ち」をもつこと

自分が夢を叶えるために、環境も含めてたくさんの支えがあることを実感した。感謝の気持ちをもつことで、人と人がつながっていき、今の自分を支えてくれている。

・「運」をつかむこと

運をつかむために、ネガティブな発言はしないようにしている。自分の経験からネガティブな発言をすると悪いことが起こっていることが多い。周りを見ても、実力があるのにチャンスをつかめない人は、ネガティブ発言をしていた。自分の発言や行動から運を引き寄せてほしい。

・「気づき」を大切にすること

何かに気づくことで一歩前進できる。自分の欠点や弱点を素直に受け入れ、自分という軸を大切にしてほしい。

⑥ 実技内容

「藤沼氏と卓球部生徒による試合」

・卓球部生徒2名とのシングルス (全校生徒見学)

・藤沼氏・校長ペアと卓球部ペアのダブルス (全校生徒見学)



(6) 【紫波町立紫波第三中学校】

- ① 実施日時 令和元年 12 月 18 日 (水) 13 時 15 分から 15 時 30 分
- ② 対 象 全校生徒 111 名
- ③ 派遣オリンピック 市橋 有里 氏
(陸上競技 2000 年 シドニーオリンピック女子マラソン代表)
徳島県出身
- ④ 事業内容 (講演)
 - 13:15 ~ 開会、講師紹介
 - 13:20 ~ 講演
 - 14:00 ~ 質疑応答
 - 14:15 ~ 実技
 - 15:05 ~ 写真撮影
 - 15:10 終了
- ⑤ 講演内容
演題「チャンスをつかむ3つの方法」
 - ・あきらめないこと
中学校卒業後、日本陸上競技連盟主導で誕生したクラブチームにはじめはことわられたものの何度も申し込み、所属することができたこと。その後のマラソン競技についてもオリンピックに出ることを目標に努力したことにより夢をかなえることができたこと。
 - ・出会いを大切にすること (競技人生を通じて周りの人の支えが大きいこと)
 - ・周りの人に感謝すること
 - ・オリンピック・パラリンピックは、ボランティア等も含め、みんなが参加できること
- ⑥ 実技内容
「走の基本トレーニング」



(7) 【西和賀町立湯田中学校】

- ① 実施日時 令和元年 11 月 9 日 (土) 14 時 05 分から 15 時 20 分
- ② 対 象 全学年、P T A 保護者等 150 名
- ③ 派遣オリンピック 藤沼 亜衣 氏
(2000 年シドニーオリンピック 卓球女子ダブルス出場
2004 年アテネオリンピック 卓球女子シングルス、ダブルス出場)
栃木県出身
- ④ 事業内容 (講演)
 - 14 : 05 ~ 開会及び講師紹介
 - 14 : 10 ~ 講演
 - 15 : 10 ~ 質疑応答
 - 15 : 15 ~ 写真撮影・講師挨拶
 - 15 : 20 ~ 終了
- ⑤ 講演内容

演題「卓球が与えてくれたもの」

- ・22 年間の競技生活スランプはあまりなかった。高 3 時のシドニーはダブルスのペアの相手が自分を選んでくれたが、準備を含めて世界で戦える力はなかった。2004 年のアテネはその反省を生かして必死に準備をして臨み、みんなで戦った。
- ・小学 1 年から卓球を始める。6 年生の時に全国大会で優勝し、中学から親元を離れての生活を送る。
- ・卓球を通して自分が得たもの
- ・「挑戦」挑戦するといろんなものが新たな発見になり、それが自信に繋がる。失敗しても得るものがたくさんある。それによって成長していける。
- ・「周りの支え」それに対して感謝している。
- ・「運」ネガティブ発言を控える。言い訳や文句、人の悪口は言わないことに気を付けていると運やチャンスをつかむことができるようになると思う。
- ・「気づき」何かに気づけることが大事。物事の捉え方が変わる。
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックを盛り上げて欲しい。プレーだけでなく、その後ろの大きなものを感じて欲しい。



(8) 【奥州市立水沢中学校】

① 実施日時 令和元年 12 月 4 日 (水) 9 時 50 分から 11 時 40 分

② 対 象 全校生徒 467 名

③ 派遣パラリンピアン 芦田 創 氏

(陸上競技 2016 年 リオパラリンピック 4×100mR 銅メダル、走り幅跳び 12 位)
大阪府出身

④ 事業内容 (講演、実技)

9 : 50 ~ 開会及び講師紹介

9 : 55 ~ 講演・質疑応答・写真撮影

10 : 50 ~ 実技 (走の基本とトレーニング方法)

11 : 30 ~ 質疑応答・写真撮影

11 : 40 ~ 終了

⑤ 講演内容

演題「より遠くへ」

- ・ 好きな陸上競技により病気が治り、「病は気から」を実感。
- ・ 大学時代の恩師から「今の自分を受け入れ、自分の可能性を信じろ」と声をかけられ生き方が変わったこと。
- ・ 「人はそれぞれ違う」ことを理解することが大事。

⑥ 実技内容 「芦田選手による走運動のトレーニング体験」

- ・ 何でもコツがあり、それを意識することが大切。
- ・ モチベーションを保つために、スモールステップで目標を設定しているとのこと。



(9) 【山田町立豊間根中学校】

① 実施日時 令和元年 12 月 3 日 (火) 13 時 20 分から 15 時 15 分

② 対 象 【実技】 1、2 年生 33 名 【講演】 全校生徒 50 名

③ 派遣パラリンピアン 芦田 創 氏

(陸上競技 2016 年 リオパラリンピック 4×100mR 銅メダル、走り幅跳び 12 位)

大阪府出身

④ 事業内容 (実技、講演)

13:20 ~ 開会及び講師紹介

13:25 ~ 実技 (走の基本とトレーニング方法)

14:05 ~ 質疑応答・休憩

14:25 ~ 講演

15:00 ~ 質疑応答・写真撮影

15:15 ~ 終了

⑤ 実技内容 「芦田選手による走運動のトレーニング体験」

- ・ 自分が好きになることが大事。30 分後に変わっている自分を意識して欲しい。
- ・ ジャンプ、腰を高い位置でのもも上げ、バウンディング。
- ・ 練習は 1～2 時間しかやらない。22 時間後に同じ体調になるように食べ物に気を付けて疲労を取ることに専念する。

⑥ 講演内容

演題「より遠くへ」

- ・ 子供の頃にデスマイド腫瘍ができてから病と闘う。抗がん剤治療も行ったため、右腕が短くなった。
 - ・ 陸上が好きで、好きなことをするようになったら明るくなって、病気が治った。
 - ・ 21 歳の時のコーチに障がいには甘えていないかと言われ、ハンディがあるからできないのではなく、それを楽しもうと考えることができた。そのころから世界を意識し始めた。
- みんなと違うことを障害だと思っている世の中が害である。みんながみんな自信を持って生きられる社会が理想。



(10) 【二戸市立金田一中学校】

① 実施日時 令和元年 11 月 29 日（金） 10 時 00 分から 11 時 20 分

② 対 象 全校生徒 140 名

③ 派遣オリンピック 塚原 直貴 氏

(陸上競技 2008 年 北京オリンピック 400mR 銀メダル)

長野県出身

④ 事業内容（講演）

10：00 ～ 開会、校長挨拶及び講師紹介

10：05 ～ 講演

11：00 ～ 質疑応答

11：10 ～ 写真撮影、講師見送り

11：20 終了

⑤ 講演内容

演題「バトンパスはコミュニケーション ～チームワークの大切さ～」

・チャレンジする大切さ

スポーツに限らず人生においてベストを尽くす。大切なのは勝利することではなく、目標に向かって全力で取り組むこと。「心」「頭」「体」のハーモニー。

・友情（互いの理解を深める）

・敬意、尊重（フェアプレー、スポーツマンシップ）

・大切にしたいこと（挨拶、礼節）

・4つの力（発信力、傾聴力、実行力、考え抜く力）



(11) 【大槌町立大槌学園】

① 実施日時 令和元年 11 月 20 日（水） 9 時 40 分から 11 時 20 分

② 対 象 4 年生 61 名、9 年生 67 名 計 128 名

③ 派遣パラリンピアン 太田 渉子 氏

(2006 年トリノパラリンピック バイアスロン 12.5 km 立位銅メダリスト

2010 年バンクーバーパラリンピック クロスカントリー12.5 km 銀メダリスト

2020 年東京パラリンピックではパラテコンドーの出場決定)

山形県出身

④ 事業内容（講演・実技）

9 : 40 ~ 開会及び講師紹介

9 : 45 ~ 講演 「挑戦するって楽しい」

10 : 15 ~ 質疑応答

10 : 30 ~ 実技 テコンドー体験

11 : 10 ~ 質疑応答

11 : 15 ~ 写真撮影・講師挨拶

11 : 20 ~ 終了

⑤ 講演内容

・ オリンピッククイズ

オリンピックはいつから？パラリンピックはいつから？私のとったメダルはいくつでしょう？

・ 大切にしていること

○工夫すること

○勇気をもって進む

○困難があってもあきらめない

・「失われたものを数えるな。残されたものを最大限にいかせ。」という言葉のとおり自分の得意なものを最大限に生かすことが大事。

・ 挑戦することは楽しいし、勝つときのイメージを持って臨んでいる。

⑥ 実技内容

・ ストレッチ

・ キックの仕方

・ ミット打ち体験（9 年生が 4 年生の補助も行った）



(12) 【岩手県立盛岡南高等学校】

- ① 実施日時 令和元年 10 月 23 日（水） 11 時 45 分から 12 時 40 分
- ② 対 象 1, 2 年生 144 名
- ③ 派遣オリンピック 藤沼 亜衣 氏
(2000 年シドニーオリンピック 卓球女子ダブルス出場
2004 年アテネオリンピック 卓球女子シングルス、ダブルス出場)
栃木県出身
- ④ 事業内容（講演・実技）
 - 11：45 ～ 開会及び講師紹介
 - 11：55 ～ 講演
 - 12：30 ～ 質疑応答
 - 12：35 ～ 写真撮影・講師挨拶
 - 12：40 ～ 終了
- ⑤ 講演内容

演題「卓球が与えてくれたもの」

- ・小学 1 年から卓球を始める。6 年生の時に全国大会で優勝し、中学から親元を離れての生活を送る。
- ・環境が変わったが、周りが良くしてくれたこと、オリンピックに出たいという気持ちで乗り越えた。
- ・前向きに居ること、自分の全てを受け入れ、言い訳や文句人の悪口は言わないことに気を付けていると運やチャンスをつかむことができるようになると思う。
- ・東京 2020 オリンピックパラリンピックが来る。どんなサポート体制ができるのかを考え、海外の選手を観察し、世界とのつながりを目指してほしい
- ・人それぞれの可能性がある。思い切ってチャレンジしてより良い人生を送ってほしい。



(13) 【岩手県立久慈東高等学校】

- ① 実施日時 令和元年 11 月 28 日（木） 12 時 30 分から 13 時 45 分
- ② 対 象 全校生徒 518 名
- ③ 派遣オリンピック 塚原 直貴 氏
(陸上競技 2008 年 北京オリンピック 400mR 銀メダル)
長野県出身

④ 事業内容（講演）

- 12 : 30 ~ 開会及び講師紹介
- 12 : 35 ~ 講演
- 13 : 35 ~ 質疑応答
- 13 : 40 ~ 御礼、花束贈呈
- 13 : 45 ~ 終了

⑤ 講演内容

演題「バトンパスはコミュニケーション ～チームワークの大切さ～」

- ・ オリンピックの概念（オリンピズム）について
- ・ 2020 年東京大会について（大会内容等）
- ・ ドーピング問題とフェアプレイの精神について
- ・ 大切にしたいこと（挨拶、礼節）
- ・ 4つの力

発信力（言語化、働きかけ）

傾聴力（気づき、質問、提案）

実行力（主体性、リーダーシップ）

考え抜く力（課題発見、計画、創造）



(14) 【岩手県立盛岡となん支援学校】

- ① 実施日時 令和元年 12 月 2 日 (月) 13 時 25 分から 15 時 10 分
- ② 対 象 全校生徒 34 名
- ③ 派遣パラリンピアン 芦田 創 氏
(陸上競技 2016 年 リオパラリンピック 4×100mR 銅メダル、走り幅跳び 12 位)
大阪府出身
- ④ 事業内容 (講演、実技)
 - 13:25 ~ 開会及び講師紹介
 - 13:30 ~ 講演
 - 14:05 ~ 質疑応答
 - 14:25 ~ 実技 (ゴム跳び対決、ボッチャによる交流)
 - 14:50 ~ 記念品贈呈及びエール
 - 15:00 ~ 写真撮影
 - 15:10 ~ 終了
- ⑤ 講演内容
演題「より遠くへ」
 - ・自分は陸上競技を始めた結果、病気が治った経験から、自分の「好きなこと」にトライすることで「心の変化」をもたらす (病は気から) ことを体験した。
 - ・頑張っても報われなくネガティブになり、好きな陸上が「楽しくない」と感じる時期があった。
 - ・ハンディキャップがあることを言い訳にしていたが、大学時代の恩師から「今の自分を受け入れ与えられた中で、自分の可能性を信じろ」と声をかけられ生き方が変わった経験がある。
 - ・同じような境遇の中で結果を出した者=「強い生き方をした者」と考え、自分は、その中で「一番になりたい」がモチベーションになっている。
 - ・「人はそれぞれ違う」ことを理解してほしい。
- ⑥ 実技内容
 - ・芦田選手と教員による「ゴム跳び対決」で、パラリンピアン の運動能力の高さを実感した。
 - ・芦田選手と生徒たちによる「ボッチャ交流」で、親睦を深めた。
- ⑦ その他
 - ・生徒手作りの「応援うちわ」を贈呈し、更に、全員でエールを贈り、来年の東京大会での活躍を願った。
 - ・最後は、生徒による花道の中を芦田選手が「メダルタッチ」をしながら退場した。



(15) 【岩手県立盛岡峰南高等支援学校】

- ① 実施日時 令和元年 12 月 19 日（木）9 時 00 分から 10 時 50 分
- ② 対 象 全校生徒 108 名
- ③ 派遣オリンピック 市橋 有里 氏
(2000 年シドニーオリンピック 女子マラソン出場)
徳島県出身

④ 事業内容（講演・実技）

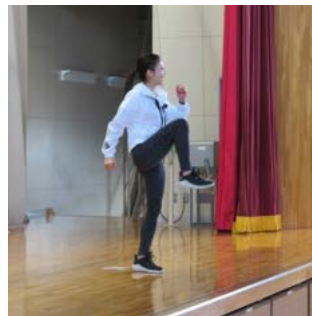
- 9：00 ～ 開会及び講師紹介
- 9：05 ～ 講演 「チャンスをつかむ3つの方法」
- 9：45 ～ 質疑応答
- 9：50 ～ 休憩、準備
- 10：00 ～ 実技
- 10：40 ～ 質疑応答
- 10：45 ～ 写真撮影
- 10：50 ～ 終了

⑤ 講演内容

- ・飽きやすい性格だったが、陸上に出会い、夢は「オリンピックにでること」になった。
- ・チャンスをつかむためには、①出会いを大切に②あきらめず努力する③周りの人に感謝する
- ・2020 東京オリパラに参加しよう。選手で出場することだけが参加ではない。ボランティア、多くの人と交流するなど、いろんな形で盛り上げて欲しい。
- ・「オリンピックに出ること」が夢だったが、「オリンピックで金メダルを取る」だったらまた違っていたかも。

⑥ 実技内容

- ・体操、走る姿勢（背筋を伸ばす、糸でつられているような姿勢で、腕をしっかり振る）、もも上げ



(16) 【岩手県立花巻清風支援学校】

① 実施日時 令和元年 12 月 17 日 (火) 10 時 15 分から 11 時 45 分

② 対 象 全校生徒 P T A 180 名

③ 派遣パラリンピアン 根木 慎志 氏

(2000 年 シドニーオリンピック車椅子バスケットボール出場)
岡山県出身

④ 事業内容 (講演)

10 : 15 ~ 入場、講師紹介

10 : 20 ~ 講演

10 : 40 ~ 質疑応答

10 : 45 ~ 写真撮影

11 : 05 ~ 実技

11 : 35 ~ 記念品贈呈、お礼の言葉

11 : 45 終了

⑤ 講演内容

- ・現役を引退後にたくさんの学校を巡って障がい者スポーツの普及をしている。2000 人もの人と出会っている。
- ・高校 3 年の交通事故により歩けなくなったが、多くの人に励ましや応援により、悲しいことはない。
- ・歩けないことを障がいだと思われない世の中になるといい。階段は登れないが、みんなが担いでくれば障害はなくなる。
- ・パラリンピックでいろんなことを感じて欲しい。

⑥ 実技内容

小学部「シュート」

中学部・高等部「車いすバスケットボール」



3 実践報告会

【開催概要】

(1) 目的

本県における「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」は令和元年10月～12月まで、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援から16校に、オリンピック・パラリンピアン等を派遣し、講義・実技等の取組を行った。

本報告会は、「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（教育地域拠点）」（2019年度）において実施したオリンピック・パラリンピック教育の成果を発信するとともに、スポーツの価値への理解と多面的な教育的価値について、推進校のみならず、県内の教員による情報共有や意見交換が図られるよう、開催するものである。

(2) 主催

岩手県教育委員会

(3) 協力機関

早稲田大学 オリンピック・パラリンピック教育研究センター

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（教育地域拠点）」（2019年度）
全国中核拠点 岩手県担当

(4) 日時

令和2年2月5日（水）13時30分～16時30分

(5) 会場

アイーナ

(6) 参加者

推進校担当教員 各校1名

参加希望する教員（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）

教育事務所担当者

(7) 日程

① 開会（13:30）

② 挨拶（13:30～13:35）

岩手県教育委員会事務局保健体育課 総括課長 清川 義彦

③ グループごとの実践報告・協議・発表（13:35～14:30）

④ 講評（14:30～14:40）

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター
主幹研究員 吉永 武史 氏

⑤ 説明（14:40～14:55）

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター
研究助手 岡田 悠佑 氏

⑥ 写真撮影（14:55～15:05）

【休憩】15:05～15:15

⑦ シンポジウム『ROAD TO TOKYO 2020』（15:15～16:25）

市橋 有里 氏 シドニーオリンピック 女子マラソン出場

根木 慎志 氏 シドニーパラリンピック 車椅子バスケットボール出場

吉永 武史 氏 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

⑧ 連絡 (16:25～16:30)

⑨ 閉会 (16:30)

【内容】

令和2年2月5日(水)、アイーナにおいて「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業(教育地域拠点)」(2019年度)実践報告会が早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの吉永武史主幹研究員、岡田悠佑研究助手、岩手県オリンピック・パラリンピック教育推進校より16名、希望参加校から 名の先生方の出席によりオリンピック・パラリンピック教育の成果を発信するとともに、スポーツの価値への理解と多面的な教育的価値について、推進校のみならず、県内の教員による情報共有や意見交換が図られることを目的として開催されました。



グループごとの実践報告・協議・発表では、4グループに分かれ、推進校の実践内容、成果と課題、さらに来年度以降の効果的なオリ・パラ教育の進め方・アイディア等についてグループ協議されました。その後の発表では、各グループから代表者を選出し、代表的実践の紹介、今後の課題等について報告していただきました。

効果的なオリ・パラ教育の進め方・アイディアについて、各グループから出された案は以下のとおりです。

- ・地域の学校(校種を越えて)集まって開催できるとよい。
- ・他教科(道徳など)と合わせて年間を通して行えるとよい。
- ・企業の社会貢献活動を活用する。
- ・学校とアスリートが直接つながり、継続して取り組んでいけるとよい。
- ・掲示物(子供たちの感想、選手のポスター)を作成し、壁面に掲示する。
- ・学校の目標として、児童の課題に合ったオリ・パラ事業
- ・身近な教材や様々な教科で扱うこと。
- ・オリンピック教育は自己伸長の尊さ、パラリンピック教育は共生社会の形成に向けた取組のように視野を広げながら継続が良い。
- ・東京2020オリンピックのホストタウンであることの有効活用

- ・障がい者と健常者が一緒になって競技する機会があるとよい。
- ・テレビ電話を利用していつでもアスリートとのやり取りできる機会があると、遠いところでもアスリートと交流できる。

岡田氏からは、他県を例に、他教科で取り組むオリ・パラ教育についてもご教示いただきました。



シンポジウムはオリンピックの市橋有里氏、パラリンピアン根木慎志氏をシンポジストとして、吉永氏にコーディネートしていただきました。

市橋氏は「オリンピック選手になりたい」という夢を持ちそのために努力し、シドニーオリンピック出場を実現されました。最近の子どもたちは〇〇になりたいとは言うが、楽をして叶えたいと言う。自分で努力してつかむということをしてほしいと話されました。

根木氏は多くの学校へ訪問し、講演をしています。たくさんの友達ができており、世界中に友達ができれば世界平和につながります。ご自身にとっては、階段を上がることが障害であるが、友達になれば、階段を運んでくれたりする。「障がい者だから」という困難さはない。「障害は社会にある」という事を話されました。

東京2020オリンピック・パラリンピックには、市橋氏は聖火リレー走者として、根木氏は解説とパラリンピック選手村の村長として携わるそうです。東京オリンピック・パラリンピックは復興の感謝を内外にアピールする意味もありますので、今後は機会を通じてそれを子供たちに伝えていきたいと話され、会を閉じました。



4 オリンピック・パラリンピック教育に関するアンケート

オリンピック・パラリンピック教育に関するアンケート

全体

1	オリンピックに興味がありますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	1065	766	259	110	2200
	割合	48.4%	34.8%	11.8%	5.0%	
		83.2%		16.8%		
2	パラリンピックに興味がありますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	825	835	391	149	2200
	割合	37.5%	38.0%	17.8%	6.8%	
		75.5%		24.5%		
3	オリンピック・パラリンピック並びにスポーツの意味や大切さに対する理解・関心が高まりましたか。					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	949	848	234	80	2111
	割合	45.0%	40.2%	11.1%	3.8%	
		85.1%		14.9%		
4	スポーツをすることで、自分で考えて行動することができたり、親しい友だちをつくったりすることができると思いますか。					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	1138	753	167	53	2111
	割合	53.9%	35.7%	7.9%	2.5%	
		89.6%		10.4%		
5	お年寄りや障がいのある人と交流したいと思いますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	726	963	416	95	2200
	割合	33.0%	43.8%	18.9%	4.3%	
		76.8%		23.2%		
6	運動やスポーツをすること、見ることに興味がありますか					
		①とてもそう思う	②そう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	合計人数
	人数	1413	575	157	55	2200
	割合	64.2%	26.1%	7.1%	2.5%	
		90.4%		9.6%		